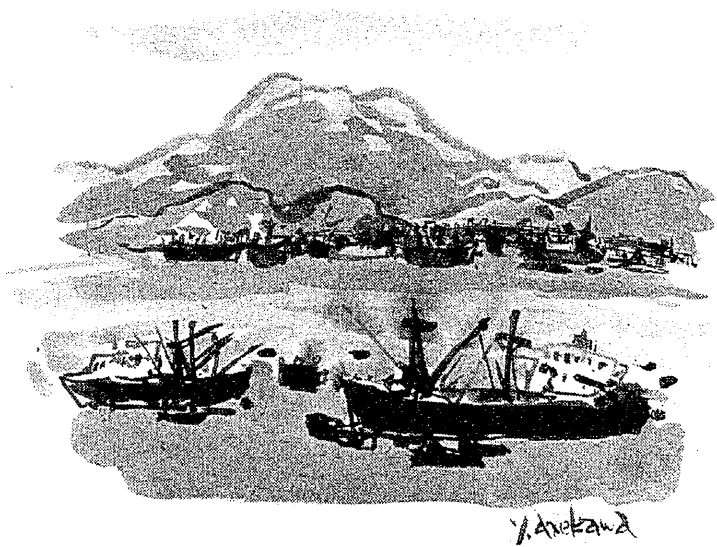


# 海と船と港



## 瀬戸内海

画 姉 川 良 男

わずかに七メートルの「早瀬の瀬戸」を境に、本州と九州を分ける関門海峡。古くは源平の戦いの壇ノ浦、さうして武蔵と小次郎が戦った厳流島がある。



## 兄弟の語り

西ブロック 池畑 小夜子

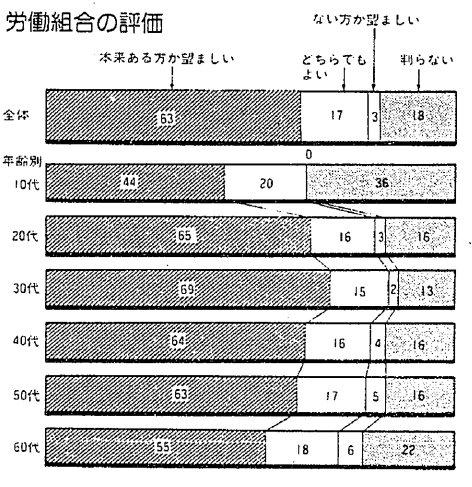
今年の二月、夫の兄がバイク事故で負傷し、三井大病院に入院し、先日退院しました。兄の話によりますと、有明で働いていた仲間が作業中に膝を骨折したにもかかわらず、担送されずに一人で昇降しなければならなかったことや、足の甲を落破事故で負傷したのに落破事故になっていた。というようなことを聞いてびっくりしました。

夫の話では、第八次の石炭客車おしよ、負傷しても本人の責任道では、中曽根首相の時代が続き

## 国民は労組に何をみたか

### 約八割が肯定的に評価

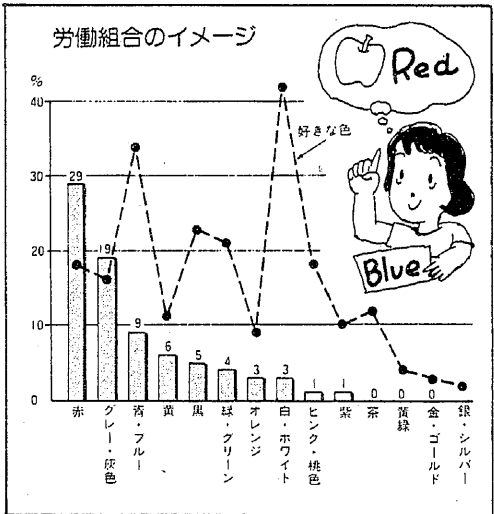
労働組合の存在については、「本来ある方が望ましい」六三%など、約八割が肯定的に評価しています。その活動についても、「労働者の賃上げに貢献している」七五%、「国民生活の改善に役立っている」五九%、「会社や社会の民主化に役立っている」五五%、「安心して働ける」五五%など比較的评价は高いものとなっています。(総評の国民意識調査より)



総評が三月に実施した労働組合についての国民意識調査の報告書がききと出されました。それによれば、「本来ある方が望ましい」と支持されていますが、現実には「力不足」で「情勢に対応していない」とみられています。

## 暗いイメージにとられがち

労働組合は何色のイメージですか?との問いに、やはり赤旗のイメージでしょうか「赤」の答えがダントツです。「赤」はともかく「青・ブルー」の落差、これをどう埋めるかが今後の課題となっています。(総評の国民意識調査より)



## 8月のこよみ

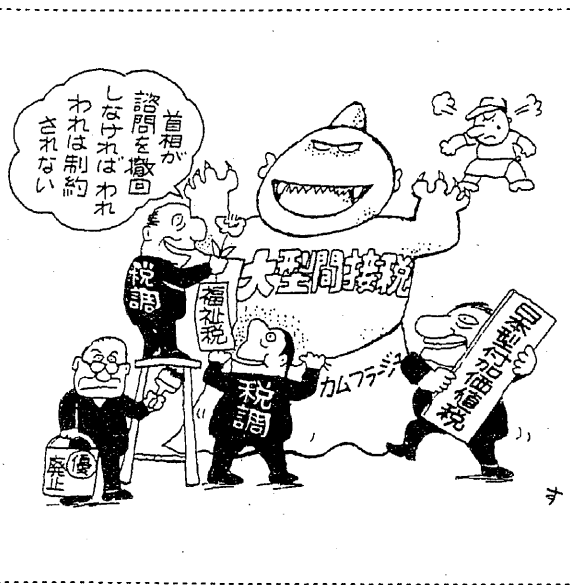
○：祭月(はつき)。2日青森ねぶた祭(7日)、6日山形花笠祭(8日)、7日仙台七夕まつり(8日)、と東北で大きな祭りが繰り広げられます。ねぶた、花笠祭はいずれも東北四大祭りの一つです。6日は広島、9日は長崎に原爆が投下された日です。富山の山王祭(27日)。富士山の山王祭(27日)。富山の山王祭(27日)。富山の山王祭(27日)。



## 時の問題

### 大型間接税導入へ 政府税調が審議再開

十月末の最終答申に向けた政府税制調査会(小倉武一会長)の審議が、七月十五日再開されました。焦点は、大型間接税導入とマル優(少額貯蓄非課税制度)の廃止。すでに大蔵省では、日本型付加価値税など「新型間接税」の検討を税調に求めるとしており、選挙での自民圧勝を背景に、大型間接税導入への可能性は一段と強まってきました。



今回、大蔵省が税調に検討を求めた「新型間接税」は、E・C型付加価値税のように煩雑な仕送り状発行を必要としない日本型の付加価値税や製造業者売上税など四案が挙げられています。これを、与野党に賛成論もある福祉目的税という形で導入を狙うとの考えです。中曽根首相は選挙中、「党員や国民が反対する大型間接税と称するものはやらない」「マル優では、老人、母子家庭などの立場は十分考える」とのべま